

研究主題 **自他ともに幸福な人生を創る主体的な学び手の育成**  
～「武蔵野市民科」を軸とした探究的な学びを通して～

## 武蔵野市民科って？

新しい教科

総合の名前が変わる

地域に出かける

境南小が武蔵野市民科で大切にしていること

教育活動全体で

# 自ら学び、くらしをよりよくする子ども

を育てること

主体性を育む学級経営や特別活動等を土台とし、武蔵野市民科で目指す資質・能力である「自立」「協働」「社会参画」を育成する教科等の指導を行います。また、地域・社会と関わる総合的な学習の時間で、それまでに育んだ資質・能力を活用します。

この全体を武蔵野市民科と考えました。

武蔵野市民科で育成を目指す資質・能力

自立	協働	社会参画
<ul style="list-style-type: none"><li>自己理解</li><li>自己管理</li><li>情報を活用する力</li><li>クリティカル・シンキング (批判的思考)</li><li>規範意識</li><li>責任感</li><li>自尊感情 (自己肯定感)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>他者理解、人間関係形成</li><li>目標達成に向けた他者との協力</li><li>よりよい生活を協力して築こうとする態度</li><li>自己有用感</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>地域や社会的課題などへの理解</li><li>よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力</li><li>公共心、社会連帯の自覚</li></ul>



本紙3、4ページ

地域・社会と関わる総合的な学習の時間

本紙2ページ下

「自立」「協働」「社会参画」の育成を目指した各教科等

本紙1、2ページ上

主体性を育む取組 (学級経営、特別活動等)

# 主体性を育む取組(学級経営、特別活動等)

主体的な児童の育成のために、日常的に行われる教育活動について見直し、改善を図りました。

## 「今年の運動会はどうしますか？」(全学年)

新型コロナウイルス感染症の影響で通常通りできなくなってしまった運動会。  
代表委員会を中心に、感染症対策について考えたうえで

「どんなことをやりたい？」と児童に  
呼び掛け、児童の意見を集めました。



さらに

## 「今年のリレーに出たい人はいますか？」

今まで走力順で決めていたリレー選抜を見直し、出場希望者を募りました。しかし、出場できる枠は各学年8名まで。「どうやって出場する人を決めるか。」は、出場希望者を体育館に集めて、3回にわたり話し合っで決めました。

### 【決定したこと】

8名のうち4名は今まで出場したことがない人、残りの4名は今まで出場したことがある人をそれぞれ走力順で決める。

### 【取組後の教員による分析】

決定のプロセスを民主的にすることは時間がかかるが、主体性は確実に育つと感じた。

## 「夏休みの宿題はどれにしますか？」(4、5、6年)

児童が保護者と相談して夏休み前に右から選ぶ機会をつくりました。

- A：自由研究＋家庭で個別に取り組む課題
- B：自由研究＋学校から配布するプリント
- C：自由研究＋自主学习ノート



選んだのは

	4年	5年	6年
A	26%	44%	30%
B	54%	45%	60%
C	20%	11%	10%

### 【児童のコメント】

- ・今年は3週間だったので、自分ができそうなものを選ぶことができた。

### 【保護者のコメント】

- ・自分で決めた課題だったので、普段より意欲的に取り組んでいたと思う。
- ・自由研究も選択制だとよい。

### 【取組後の教員による分析】

意欲の向上に効果があったが、自主学习、自由研究への取り組み方も検討する必要があると感じた。

# 6年生から「1年生のお手伝い、何かできないかな。」

【今までの6年生のお手伝い活動】  
朝の支度や掃除などを学級毎に分担し、当番制で行っていた。

感染防止のため

接触を避けるためお手伝い活動はさせない、と教師は判断した。

1年生の先生が給食の時、大変そうなのを見たよ。何かできないかなあ…



先生のお手伝いをした方がいいと思うよ。先生に言ってみようよ。



感染防止対策をしている中でのお手伝いはどうしたらいいかな？

配膳はやめて、室内の見守りをすればいいと思う。

お手伝いをしすぎると1年生が自分の当番ができなくなってしまうかも…やりすぎはよくないよ。

お手伝いだから当番制ではなく自主的にやりたい人がやるべきだと思う。



## 【児童と共に考えた成果】

- ・お手伝いをするための**目的意識**が明確になった。
- ・**相手意識**をもって活動内容を考えることができた。
- ・取組のルールや改善点などを自分たちで話し合い、**合意のもと**で決めることができた。

## 「自立」「協働」「社会参画」の育成を目指した各教科等

### 「自立」「協働」「社会参画」はどんな姿？

武蔵野市民科で育成を目指す「自立」「協働」「社会参画」の資質・能力は、各発達段階においてどのような姿かを探るために、**各教科等の学習指導要領解説**をもとにして検討しました。その上で児童向けの**意識調査**の項目を作成し、9月に調査を実施しました。

例えば、「自立」の中の「自己管理」の具体的な姿は、  
特別支援学級、低学年

「友達の考えを最後まで聞いている。」  
中学年、高学年

「友達の考えをよく聞いて、自分の考えと同じところや違うところを認めようとしている。」

調査結果から児童の実態を明らかにして、こうした姿を各教科等で目指す**カリキュラム・マネジメント**ができるように年間指導計画の見直しを図っていきます。

◇自分にあてはまるところに○を付けましょう。

① 自分が考えた方法がうまくいかなかったとき、あきらめずに次に何をするか考えたり、人に聞いたりしている。

している      わりとしている      あまりしていない      していない

② 自分や友達の考え、集めた情報が本当に正しいか見直したり、考え直したりしている。

している      わりとしている      あまりしていない      していない

③ 様々なきまりの大切さが分かり、守っている。

守っている      わりと守っている      あまり守っていない      守っていない

# 5年2組 「『境のとながらし』を広めよう」



Start!

- 【児童】
- ・ 出前をよくとるようになった。
  - ・ 外食が少なくなった。
  - ・ 郷土料理は大切だと思う。

【学校が再開して】  
学年のテーマは「食」。そこで、「食」に関して児童が感じていること、知っていることを出しました。



児童A「この地域で有名な食べ物って何だろう。」  
児童B「**唐辛子だよ。**」  
児童他「**本当に？！**  
聞いたことないな。」  
児童他「そんなことないよ。」

担任「**本当に唐辛子が有名かを調べてみよう。**」

【第1の問い】

唐辛子は武蔵境で有名なのか。



- 【児童】
- ・ 八房唐辛子っていうのがあるみたい。
  - ・ 唐辛子まつりをやっているみたい。
  - ・ 北原白秋の詩にも出てくる。

販売元に手紙を送ってみよう。

武蔵境産の唐辛子の商品化やイベントを企画している**武蔵境活性化委員会**の方をお招きして、唐辛子について聞いてみました。

担任「**こんなの見付けたよ！**」  
児童他「**本当に有名なんだ。**」  
児童D「**どこで、誰が売っているのだろう。**」



武蔵境活性化委員会が企画した「境のとながらし」

- 【児童】
- ・ 手紙を書いて、お招きしてよかった。詳しい話をたくさん聞けたよ。
  - ・ **唐辛子の苗**を頂いた。大切に育てよう。
  - ・ 地域のためにこんなにがんばっている人がいるんだ。
  - ・ 武蔵境活性化委員会ががんばっていること、みんな知っているのかな。

【第2の問い】

新たな課題の設定

どれくらいの人が武蔵境活性化委員会のことを知っているのだろうか。

まずは5年生の保護者にアンケートをとろう。

武蔵境産の唐辛子と武蔵境活性化委員会の取組を広めよう。

単元は現在も進行中

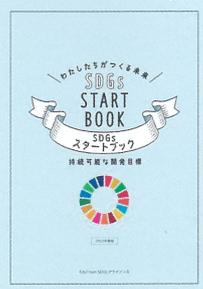


# 6年「SDGsについて考えよう」



### 【児童】

- ・この問題はテレビで聞いたことがあるよ。
- ・世界にはこんなに問題があるんだ…。
- ・なんとかできないかな？



### 【教材との出会い】

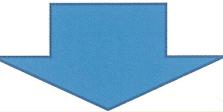
- ・冊子 (Edu Town SDGs アライアンス) の活用

もっと知りたい！  
という思い



### 「この後どうしたい？」

- ・項目を選んで、調べたい！
- ・他の知っている課題との関連を調べたい！



### 【第1の問い】

各項目は具体的にどんなことなのだろう。



### 【児童】

- ・自主学習の活用
- ・市内の図書館から借りた本の活用



知っておくべき  
問題だ！



### 「この後どうしたい？」

- ・他の項目についても知りたい！
- ・日本も課題がたくさんあった！  
聞いてほしい！

### 【発表を終えて】

- ・問題はたくさんあるし、どれもとても大切だと思った。
- ・本当に達成できるのか心配…。
- ・項目同士に様々な繋がりがあった。

### この後、こんなことがしたい！

SDGsが達成されなかった場合、未来はどうなるの？

SDGsに取り組んでいる地域はどのようなことをしているの？



自治体や企業がやっている取組について具体的に知りたい。

家族は知らなかった。SDGsについても知ってもらおうことが大切！

新たな課題の設定

### 【第2の問い】

対策を行っている企業や自治体はどんなことをやっているのだろう。

まちの実態と企業や自治体の取組を調べよう。

単元は現在も進行中

# 奈須 正裕先生による講演会後の教員の感想より

8月の奈須 正裕先生（上智大学 総合人間科学部教育学科教授）による講演会後に各教員が記述した文章からいくつか抜粋します。

児童の思いや願いをもとに学習を進めるということは、**これまでの様々な経験、背景を広く見ていく**ことが大切だと思った。

「教師との関わりで**児童のくらしを素敵に豊かにする**」という言葉に感銘を受け、教師という仕事の魅力を感じた。

見通しをもって指導することばかりを重要視していた。**「～させよう」ではなく、児童と向き合い、対話を大切にして授業をつくっていき**たい。



## 今後の研究の方向性

### 地域・社会と関わる総合的な学習の時間

- ・本物に触れる**「実感のある学び」**を通して、**探究的な活動を教師と児童で発展させていく**単元を構成する。
- ・児童主体を第一にした授業展開、**目的意識をもたせる問い掛け等**、実践例を共有する。

### 「自立」「協働」「社会参画」の育成を目指した各教科等

- ・意識調査の結果を分析し、各教科等で意図的・計画的に指導できるように、学習内容の関連だけでなく、資質・能力のつながりを考えた**カリキュラム・マネジメント**を行う。

### 主体性を育む取組（学級経営、特別活動等）

- ・**「やらされ感」**をなるべく与えず、**「聞いて、助けて、任せて、見守る」**指導を常に意識する。
- ・宿題や自主学習のよりよい取り組み方について検討し、保護者、児童と共有する。